



夏休みを前に③：夏休みも引き続き新型コロナ ウイルス感染症対策をお願いします

7月9日（金）、熊本県の新規感染者数は1人で、感染状況はレベル2となり、減少傾向が続いています。しかしながら、東京都では緊急事態宣言を実施しているにもかかわらず、新規陽性者はステージ4基準を超える水準まで増加しています。また、家庭内での感染が増加しているとも言われます。なお、首都圏の感染増加が本県まで時間をかけて波及してくる可能性があります。これから長い休みに入りますが、県から出されている対策と要請（下記）を参考に、引き続き感染防止対策をお願いいたします。

1 基本的な感染防止対策の徹底

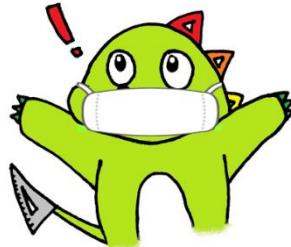
- ① 症状がなくとも、マスク着用
- ② こまめな手洗い・手指消毒
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談！

2 移動・外出は慎重に

（移動）緊急事態措置区域及びまん延防止等重点措置適用区域への不要不急の移動を控えてください。

（外出）外出時は、感染防止対策を徹底してください。

3 会食はリスク大！特に注意しましょう



前途洋々

夏休みを前に④：SNS等に関して更なる注意を！

今年の夏休みは子供たちにタブレットを持ち帰らせ、利用に慣れてもらうことや学習に活用してもらうことを計画しています。ただ、たいへん危惧しているのは、タブレットに限らず、所持しているスマホ等の情報機器の誤った利用が行われないかということです。以下、熊本県警察が示しているデータを見てみますと・・・。

- 令和2年中のSNSに起因する事犯の被害児童数（「児童」とは、18歳に満たない者をいう）は、全国で1,819人となっておりで、前年から減少したものの、平成25年以降増加傾向にある。
- 被害児童の約9割がアクセス手段としてスマートフォンを利用。
- 被害児童の約9割が被害時にフィルタリングの利用なし（被害当時の利用状況が判明した場合に限る）。
- 罪種別構成比では、児童ポルノと児童買春を合わせてほぼ5割（全国）。熊本のみを見ると、「児童ポルノ」が63.0%を占める（うち自画撮り被害が半数以上）。

心配しているのは、個人情報を掲載する、自撮りした画像を安易に撮影・送信する、他人を誹謗・中傷する書き込みを行うなどです。これらは絶対にあってはなりません。子供たちの身の危険や大きなトラブルにすぐつながります。

本県においても、SNSに起因する犯罪被害にあったり、問題行動を起こしたりする児童生徒が増加しています。出会い系アプリ・サイトを利用したりSNS等で知り合うなどした直接面識のない人に会ったりするなど、決してあってはなりません。学校でも指導しますが、ご家庭でもぜひ繰り返しお話をお願いします。小学生といえども、好奇心から・・・という状況がないとは言えません。取り返しがつかないことがあっては遅いのです。また、家庭内でのルールの設定（ゲームも同様ですが）、フィルタリングの設定などをぜひお願いします。

なお、デジタル社会に生まれた子供たちの現状を私たち大人があまり理解できていない側面もあるかもしれません。熊本県警察が令和2年1月に発行している「スマホに弱い大人の教科書～検査現場と学校現場から見たホンネ～」という冊子があります。子供たちの現状だけではなく、どうすれば子供たちを守れるのかという視点から章立てがしてあり、たいへん読みやすいものとなっています。（ダウンロードできますので、時間があるときにでも目を通されてみてください）家庭でどのようにスマホなどの便利な端末に子供たちを関わらせていくか、多くのヒントが掲載されています。参考にされてみてください。

